



■病院の概要

令和4年12月1日現在

医師数：107人  
 病床数：325床（一般325床）  
 外来患者数：548人/日（令和3年度実績）  
 入院患者数：296人/日（令和3年度実績）  
 待 遇：1年目340千円/月 賞与：440千円/年  
 2年目380千円/月 賞与：760千円/年

指導医数	研修医数	救急搬送患者数	手術件数
29人	22人	6447人	3449件
		(令和3年度実績)	(令和3年度実績)

■初期臨床研修プログラムの一例

当院の特徴は、初期研修医が主体的に、自分が中心となって動ける場がとて多く、それによって初期対応力が身につく環境があることです。救急外来、時間外外来、総合診療部における診療では、上級医のフィードバックを受けつつも、研修医が最前線で診療を行います。また、1年次の必須科目を脳神経外科、IBDセンターを追加したことで、専門的な分野の研修を行えることで、どこにも負けないレジデントを育成します。 \*2020年度指導ガイドラインの臨床研修制度に対応。

1ヶ月=4週以上

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	麻酔	循環器内科		外科		整形外科	救急	総合診療		脳外	消化器内	IBD
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科	僻地離島		麻酔	救急	精神科	産婦人科	選択科目				

■指導医からのメッセージ

皆さんは、どんな医師になりたいですか？また、皆さんは、自分の診療科の病気だけ診られれば満足ですか？ずっと外来に通っている患者さんの相談を「専門外」と断りますか？自分が手術した患者さんのアナフィラキシーに「専門外」と逃げ出しますか？離島や無医村であれば、貴方は唯一の医師かも知れません。どんな診療科に進んだとしても、我々は患者さんから見れば一人の医師です。患者さんは「助けて」に応じてくれることを期待しています。そんな期待に応えられるようになるのが、初期研修の目標です。

どんな患者さんにも「先ず僕が診ます」と手を差し伸べられる医師になりたいなら、是非当院へ。1年間の必修研修と2ヶ月の離島研修と言う最高に「現場力」のつく研修で皆さんをお待ちしています。



研修管理委員長  
 (放射線診断科・救急センター部長)  
 松田 律史

■研修医からのメッセージ

入社して10ヶ月程が経過しました。何もわからず当直では患者さんに怯えていた4月に比べ少しずつできることが増え自信がついてきた反面、次々と新たな課題に直面し充実した日々を送っています。そんな研修生活ができるのも、この病院の救急の症例の多さだと思います。当直では、COVID19により以前よりは減少していますが、多様な救急症例を経験し研修医がファーストタッチからアセスメントまで考え上級医にプレゼンするところまでを行うため、非常に多くの症例経験を積むことができます。日中のローテ科では自分が救急で見た症例のその後を知ることができ、とても勉強になります。時には大変だと感じることもありますが、緩急のついた毎日を1学年12人の研修医同士で仲良く支え合いながらできることは、きっと将来に生かせる大切な2年間の思い出になると思います。もし当院に少しでも興味があれば、まずは是非見学で雰囲気を見に来てください。



初期研修医  
 (旭川医科大学卒)  
 岩田 菜子



■連絡先

ADDRESS  
 〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3番1号  
 PHONE  
 011-722-1110  
 担当部署  
 札幌東徳洲会病院 医局事務管理室 松山・久保田  
 E-MAIL  
 ishi\_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp  
 URL  
 http://www.higashi-tokushukai.or.jp/

■専門研修プログラム（基：基幹施設、連：連携施設）

基	連	領域	基	連	領域	基	連	領域
●	●	内科		●	眼科			臨床検査
		小児科		●	耳鼻咽喉科	●	●	救急科
		皮膚科			泌尿器科			形成外科
		精神科		●	脳神経外科			リハビリテーション科
●	●	外科	●	●	放射線科※	●	●	総合診療
●		整形外科	●		麻酔科			
		産婦人科	●		病理			

注 関連施設等の場合は、各領域名の後に「※」を付しています。